

## タイムック配合内用液の再分散性試験

### 試験目的

タイムック配合内用液は、1mL 中に水酸化アルミニウムゲル 560mg (酸化アルミニウムとして 22.4mg) と水酸化マグネシウム 40mg を含有する消化性潰瘍・胃炎治療剤である。今回、本製剤の再分散性(均一化)を確認したので報告する。

### 試験材料

タイムック配合内用液

Lot. 611902

テバ製薬株式会社(旧 大洋薬品工業株式会社)

### 試験方法

タイムック配合内用液(350mL)を透明ポリカーボネイト製容器に移し、一晩静置した。成分が容器の底に沈殿しているのを確認した後、手で3秒間振とうして再分散性(均一化)を確認した。

### 試験結果

タイムック配合内用液の再分散性試験結果を図1, 2に示す。その結果、3秒間振とう後、容器の底に沈殿を認めなかった。



図1 タイメック配合内用液一晩静置後の外観



図2 振とう後の外観

### 結論

タイムック配合内用液の再分散性試験を行った結果、容器の底に沈殿を認めなかった。これより、本製剤の再分散性は問題なしと判断した。